

【商事事業本部】

SDGs に対応した企業の防災対策をご提案 「第18回 オフィス防災EXPO」に出展

そごう・西武商事事業本部では新たな顧客開拓のために、5月10日(水)～12日(金)に東京ビッグサイトで開催された「第18回オフィス防災EXPO」に出展しました。近年は防災対策においてもSDGs「持続可能な開発目標」やCSR「企業の社会的責任」を意識する企業が多い事を受け、会場では食品ロス削減につながる7年間の長期保存が可能なレトルト食品や、使用済み毛布をリユースした防災毛布、期限切れ前の備蓄食を必要とする団体に寄付するマッチングサービスなどをご紹介。多くの企業や団体のご担当者さまに、環境や社会貢献につながる商品やサービスをご提案しました。



7年保存レトルト食品



賞味期限を7年間に延長したことで、フードロス削減に貢献。また、水を使わず調理も不要なためゴミも削減。環境に配慮した包装材を使用し、さらにハラールにも対応しています。

災害用毛布リニューアルパック



使用済み・保証期間切れの防災毛布を回収し、クリーニング加工。真空パックにより備蓄場所を省スペース化し、10年間の長期保管も可能となりました。また、リユースすることで新規製造時のCO2排出量を削減するなど環境にも優しいサービスです。

シェアする防災セット



国内貨物の約9割を支えるトラック輸送に着目。車両に30人分のシェアする防災セットを備えることで、大渋滞や豪雪、地震などの災害時にドライバーだけでなく、周囲の方々への「共助」にもつながります。

この取組みにより、国連で定めたSDGsの
目標 10・11・12・13 の達成に貢献します。

